

平成 27 年地域公共交通優良団体として

富山市都市交通協議会が

国土交通大臣より表彰されました

7 月 1 日 国土交通省内の会議室において、地域公共交通に関する取組みに顕著な功績があったとして、「富山市都市交通協議会」が国土交通大臣より表彰されました。

北陸信越運輸局管内では、平成 21 年の安曇野市地域公共交通活性化協議会、平成 23 年の三条市地域公共交通協議会、平成 24 年の珠洲市地域公共交通活性化協議会、平成 25 年の魚津市公共交通活性化会議、平成 26 年の松本市地域公共交通協議会の受賞に続き、6 団体目の受賞となります。



富山市都市交通協議会

(富山県富山市)

公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの推進とともに、新たな視点を取り入れた公共交通活性化や利便性向上の取組みを継続的に実施。北陸新幹線の開業を通過点として、地域公共交通網形成計画及び立地適正化計画の策定を目指し、路面電車の南北接続等の公共交通網を整備。



(取組みの概要)

1. 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの推進

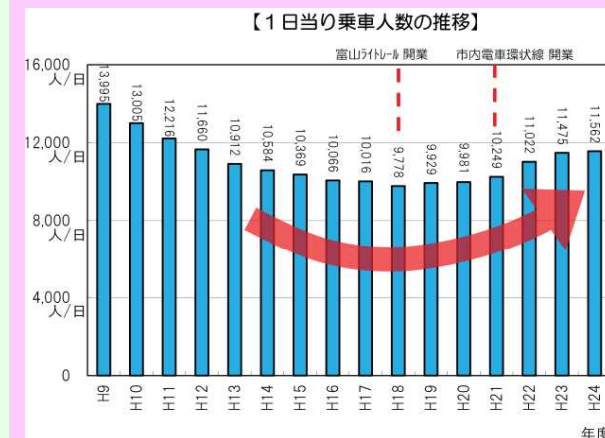
- 日本初の本格的LRTシステムの整備や上下分離方式の導入と、ライトレールに接続したフィーダーバスの運行
- 中心市街地及び公共交通沿線地域への居住の推進
- 北陸新幹線の開業を通過点として、地域公共交通網形成計画及び立地適正化計画を策定し、路面電車の南北接続等の公共交通網を整備



LRTネットワーク

(効果)

減少を続けていた市内電車の利用者が平成19年度以降継続して増加



2. 新たな視点を取り入れた取組みの継続的な実施

- マスコミや情報誌、学校との連携によるモビリティ・マネジメントの展開
- 福祉部門と連携した「おでかけ定期券」の発行による外出機会の創出
- 農林水産部門や生花店との連携による市内電車乗客の運賃無料化
- 住民による駐輪場整備や学生による駅舎清掃活動等の鉄道活性化
- 新デザインのイメージアップ車両導入等の幹線バス路線の重点整備
- 住民や地元企業が経費を一部負担する「地域自主運行バス」の運行
- 自転車市民共同利用システムの運営費の一部を広告収入により捻出
- ICTインフラ整備により収集したデータを交通まちづくりの改善へ活用



学校との連携によるモビリティ・マネジメント



学生による駅舎清掃活動



地域自主運行バス